

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年10月7日

米国の成人の7%、小児の1%がロングコロナを経験した

## 【松崎雑感】

一部の人々から「普通の風邪」だと決めつけられていたウイルス感染症を患った後、20人に1人が働けなくなったり、以前の生活を送るうえで困難になります。

新型コロナ感染症は、1億人から100万人単位で後遺障害（ロングコロナ）をもたらす重大な感染症です。生活と就労に大きな悪影響をもたらすロングコロナを抱える人々を社会で支えていく制度が必要と考えます。

# 米国の成人の7%、小児の1%がロングコロナを経験した

Harris E. **US Survey: About 7% of Adults, 1% of Children Have Had Long COVID** [published online ahead of print, 2023 Oct 4]. **JAMA**. 2023;10.1001/jama.2023.19208. doi:10.1001/jama.2023.19208

[Products – Data Briefs – Number 480 – September 2023 \(cdc.gov\)](#)

CDCの最新データです。

キーポイント:

- 米国成人の6.9%がロングコロナを経験し、3.4%はロングコロナ状態が続いている。ロングコロナ率は男性より女性に多い。
- 最もロングコロナ経験率の高い年齢層は35～49歳(8.9%)で、現在も4.7%がロングコロナ状態となっている。
- ロングコロナ率はアジア系に少なく、スペイン系で多い。
- 家計収入が多いほど、ロングコロナ率が低くなる。
- 大都市圏ほどロングコロナ率が低い。

# アメリカ：女性は男性より有意にロングコロナが多い

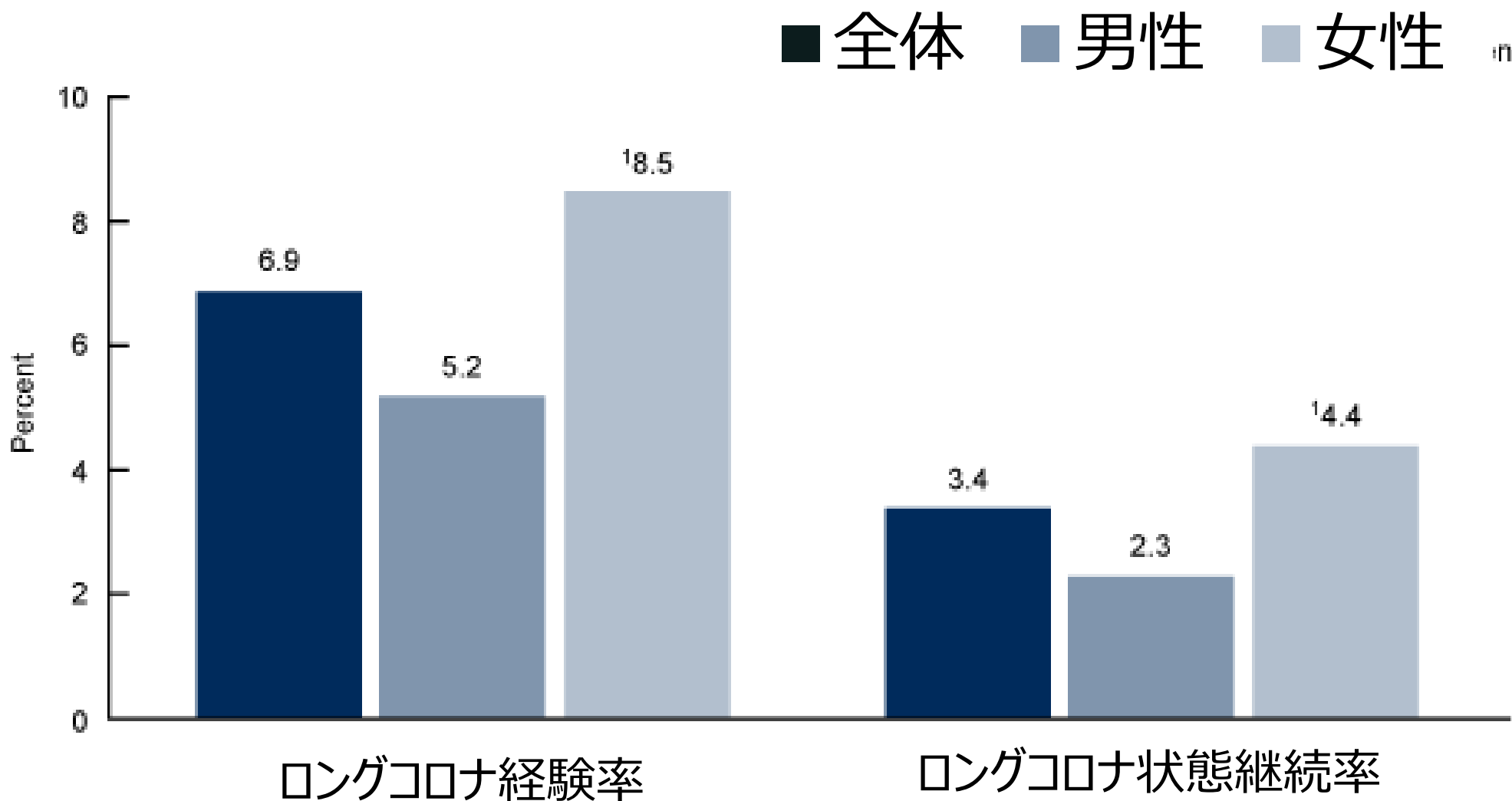


図1 ロングコロナ経験率及び現在ロングコロナ継続率 米国 2022年

# アメリカ：35～49才層にロングコロナが多い

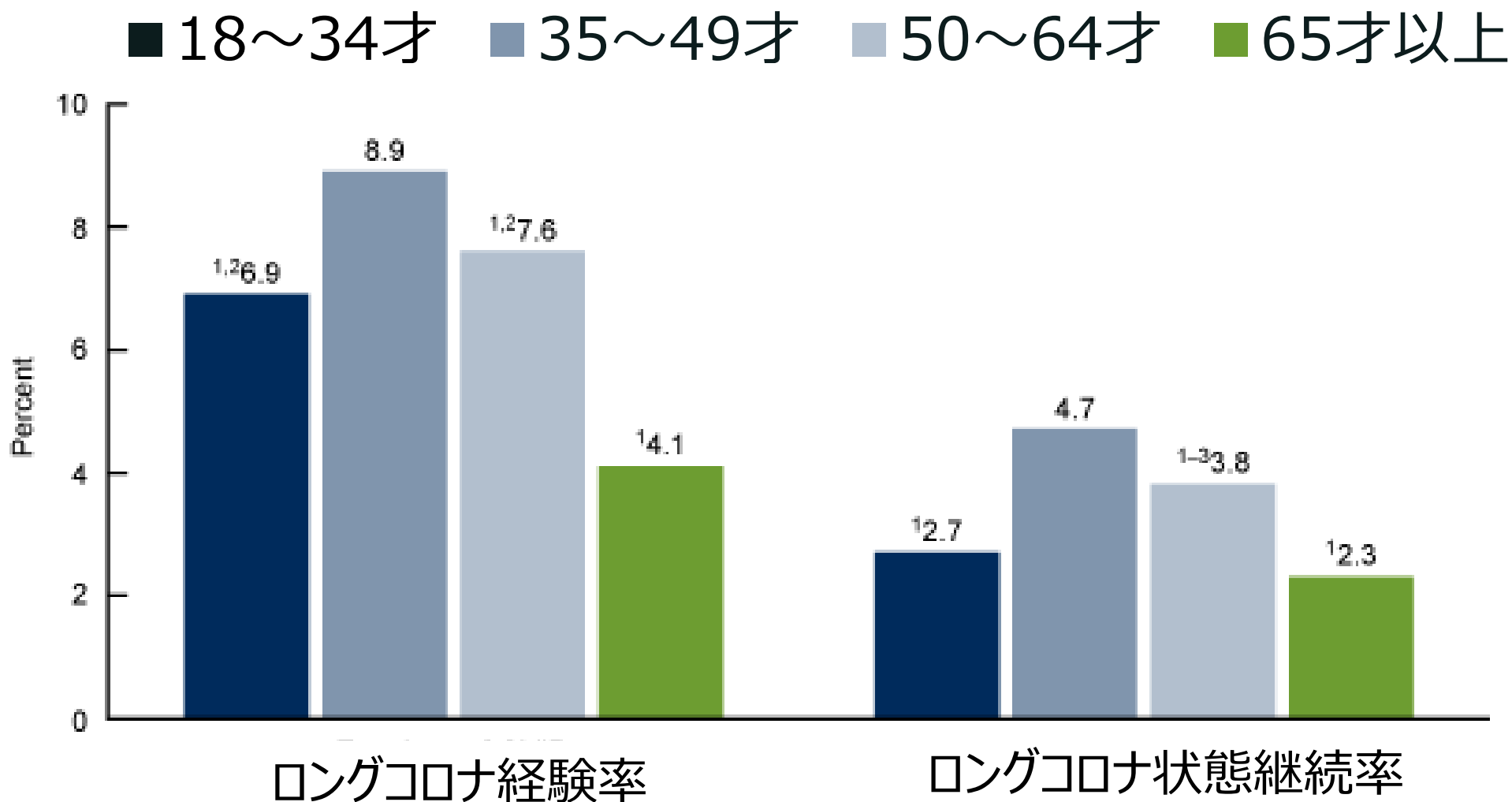


図2 年齢別ロングコロナ経験率および現在継続率

アメリカ：ロングコロナは、スペイン系に多く、アジア系でとても少ない

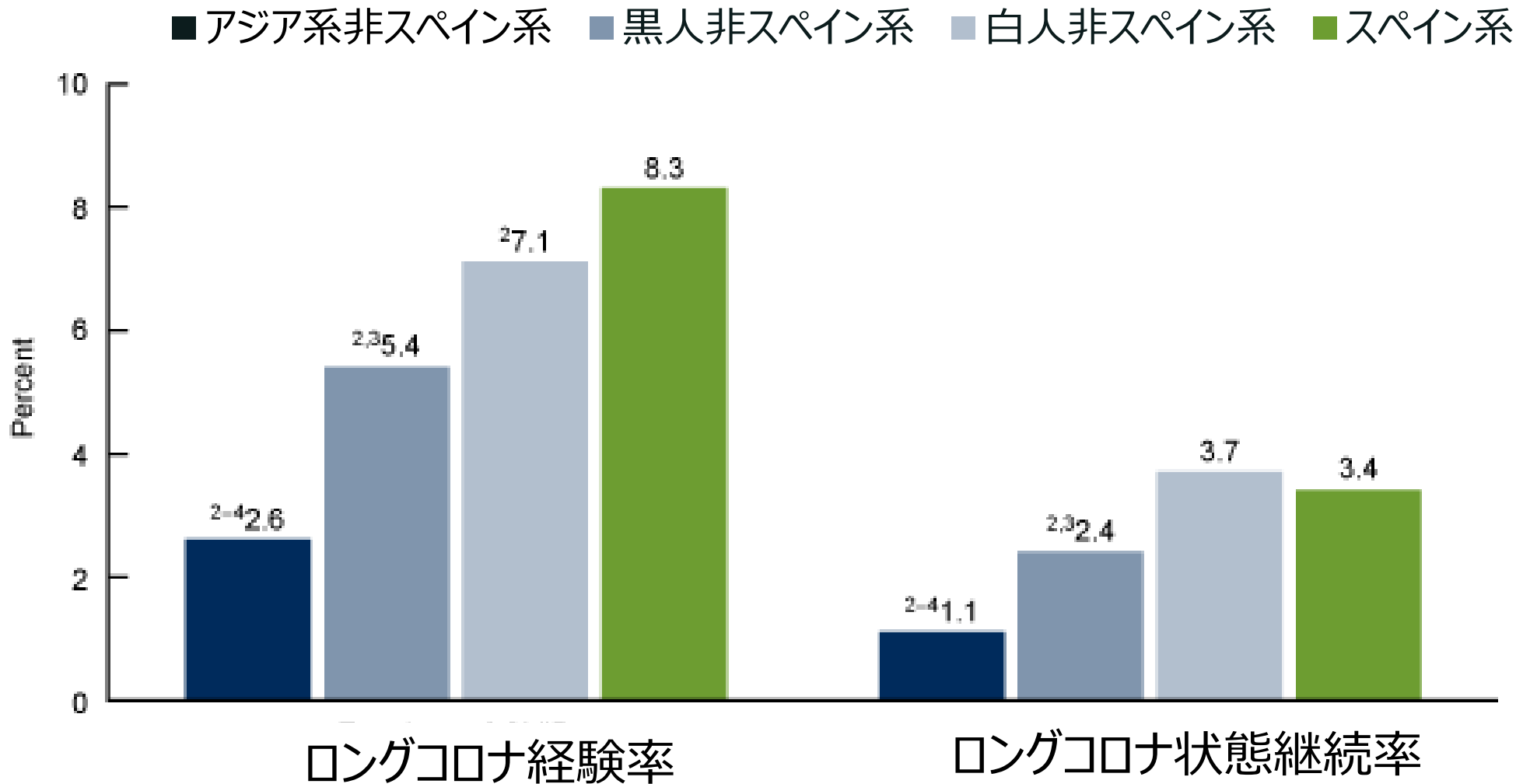


図3 人種別スペイン系民族別ロングコロナ経験率および現在継続率

# アメリカ：低収入層にロングコロナが多い傾向

年収が

■ 貧困基準以下 ■ 貧困基準の1～2倍 ■ 貧困基準2～4倍 ■ 貧困基準の4倍以上

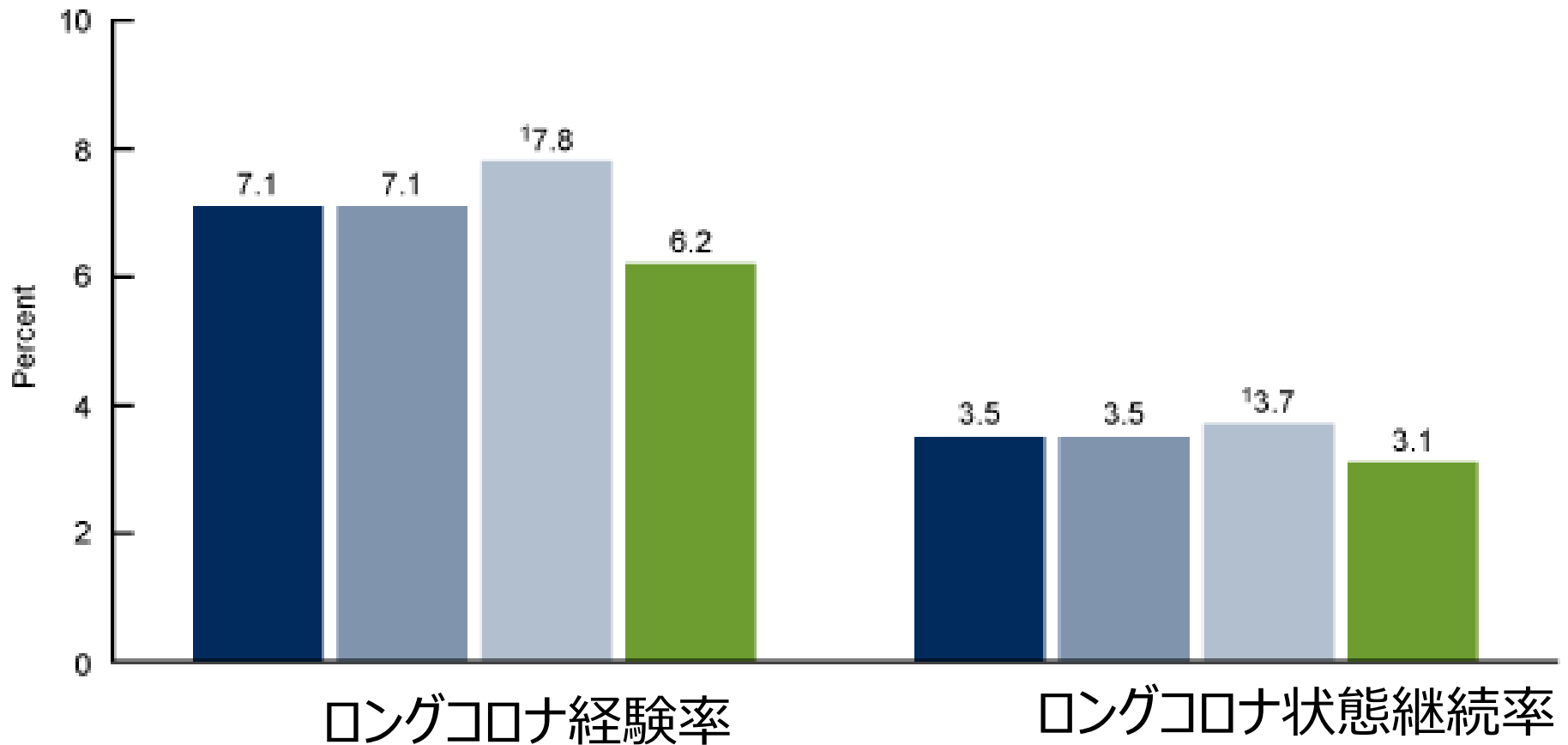


図4 貧困基準との比較別ロングコロナ経験率および現在継続率

## アメリカ：都市より農村にロングコロナが多い

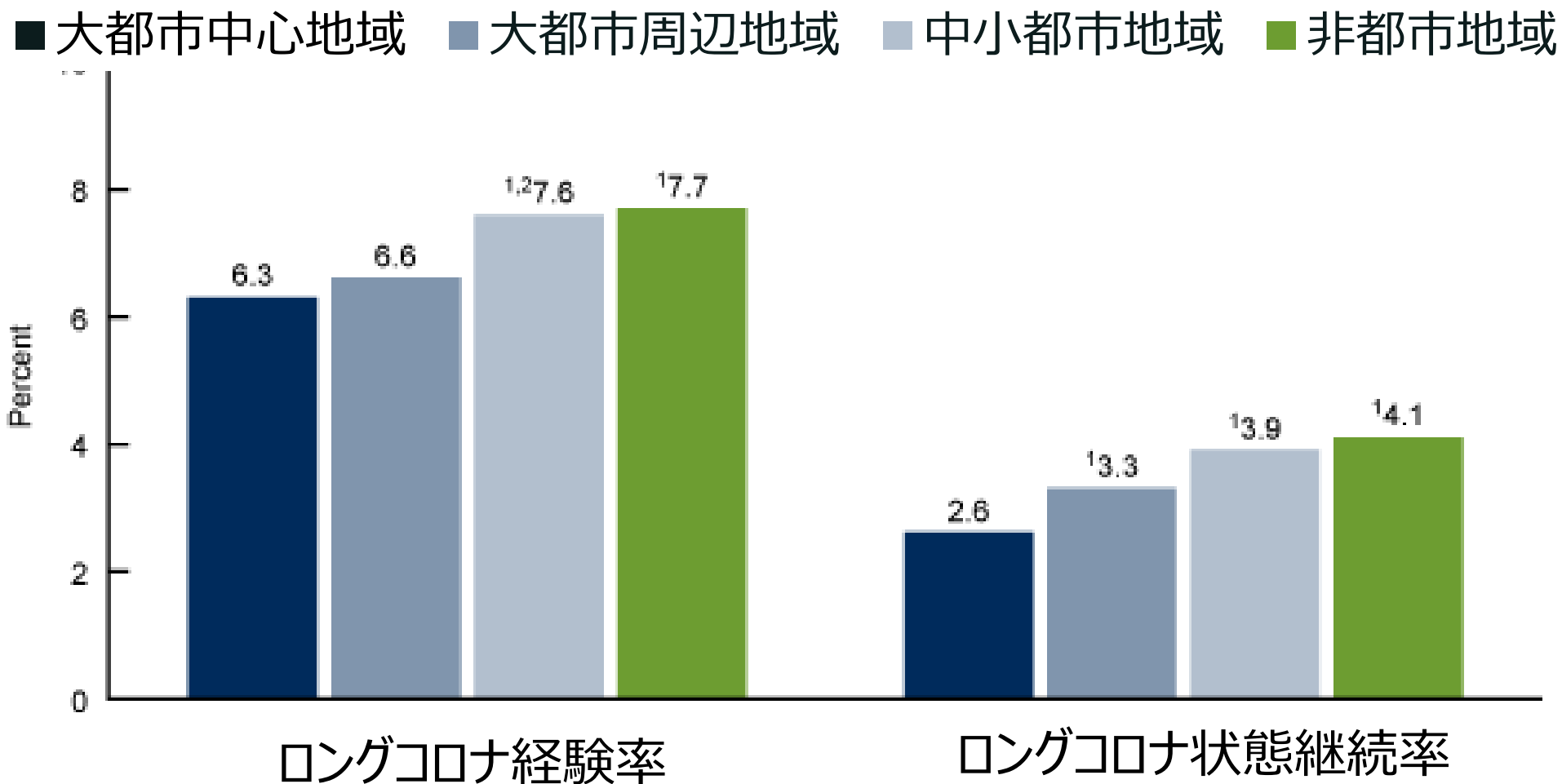


図5 都市度合別ロングコロナ経験率および現在継続率